

隙 間 夜

スキ
マ
ナ
イ
ト

Vol.9

時の旋律 - マチネ・ソワレ -

KUM 村松久美子

ON glass jewelry 岡本有加

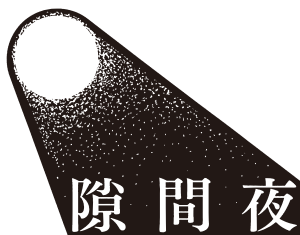
2025

4.25 (fri) 17:00-21:00

4.26 (sat) 17:00-20:00

FUJITAKA TOWEL GINZA

不定期開催 夜ギャラリー「隙間夜-スキマナイト-」第9弾



FUJITAKA TOWEL GINZA

【老舗タオルメーカー藤高タオル】

「今治の老舗タオルメーカー」藤高タオルと

組紐ジュエリー作家・村松久美子氏(KUM)と

ガラスジュエリー作家岡本有加氏(ON glass jewelry)による夜の

“スキマ時間”を楽しむためのイベント、4/25・26に開催

創業100年の歴史を持つ今治のタオルメーカー株式会社藤高(本社：愛媛／代表取締役社長：藤高亮)が運営する直営店『FUJITAKA TOWEL GINZA』では、夜の“スキマ時間”を楽しむための夜ギャラリー「隙間夜-スキマナイト-」を不定期開催しております。第9弾となる今回は、「時間の移ろい」をテーマにしたジュエリーをご紹介します特別な夜です。絹糸に天然石を組み込み丁寧に仕立てられたジュエリーを手掛ける村松久美子さんと、ガラスという素材に込めた想いや物語を形にするジュエリー作家岡本有加さんが、共に時を感じさせる作品を披露します。作家兩名にとって初めてとなるワークショップも昼の部として開催いたします。春風を感じる爽やかなハーブを使ったビールカクテルやハーブティをご用意してお待ちしております。

Vol.9

時の旋律 - マチネ・ソワレ -

KUM 村松久美子 / ON glass jewelry 岡本有加

2025.4.25 (fri) 17:00-21:00

4.26 (sat) 17:00-20:00

場所：FUJITAKA TOWEL GINZA

〒104-0061 東京都中央区銀座7-12-1 1F 03-6278-8852

[Special Event][要予約] 隙間夜-昼の部-
15:00-17:00 両日定員6名 会費：13,200円(税込)

KUM 村松久美子さんに組紐を教わりながらオリジナルのプレスレットを作成するワークショップを行います。3種の糸からお好きな色を選び、ビーズを入れ込みながら組紐を仕立てていきます。端につける飾りの房も自分の手で作り上げる楽しさを感じながら、自由に仕上げていただけます。ON glass jewelry 岡本有加さんとのコラボレーションで、特別に制作されたガラスのパーツをチャームに仕立ててプレスレットに取り付けて完成です。お茶とお菓子を楽しみながら、手作りの時間を皆で共有し、リラックスしたひとときをお過ごしください。

※KUMのジュエリーは
絹糸と天然石が用いられていますが、
今回のワークショップの素材は
異なりますのでご了承ください。

詳細・ご予約は
こちらから



スキマナイト
“スキマ時間”に夜を楽しむ 夜を遊ぶ 隙間夜とは

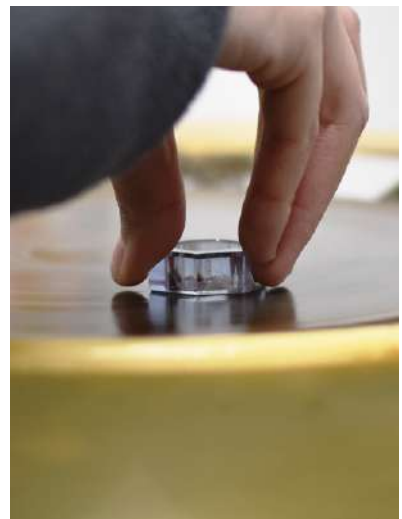
隙間夜(スキマナイト)とは、タオル専門店である『FUJITAKA TOWEL GINZA』の閉店後の時間を開放して、作家・クリエイター・職人・アーティストの方々と共に小さな空間を楽しんでもらう不定期開催の夜のギャラリーです。夜の帳が下りてきたころ、銀座の隙間に迷い込めばそこは大人の遊び場に。参加者の皆様と作り手と売り手が、一緒に作り上げる二夜限りの饗宴。共感や応援を通じて、モノはただのモノではなく、思いの繋がりが広がる体験を楽しんでいただけたらと思います。

【2人のジュエリーデザイナー】

手仕事による繊細な組紐のジュエリーを展開するKUM村松久美子さんと「ガラスの一点もの」にこだわり磨きから組み立てまで一つ一つを手掛けるON glass jewelry 岡本有加さん。おふたりとも手仕事を大切に、それぞれの素材が持つ個性を最大限に引き出すジュエリー作家です。

村松久美子さんのジュエリーは、絹糸が織りなす組紐が特徴的でありながら、その存在感が装いや石との調和を損なうことなく、繊細に仕上げられています。紐の色や素材感、石の配置や向きが織りなすリズムは、緻密に計算され、村松久美子さんの芯の通った凛としたお人柄を感じることができます。やさしく揺れるタッセルも愛らしい存在感があり、装いに深い印象を与えてくれます。

岡本有加さんのジュエリーからはささやかな願いや祈りが感じられます。偶発的に生まれたガラスの歪みや色合いが放つ個性は、見る人それぞれに異なる印象を与え、独自の魅力を感じさせます。ある人は海のようなだと感じるかもしれないし、ある人は飼っていた鳥のようなだと感じるかもしれない。『その人の人生で見つけ出した形にならないものを形にしたい』という岡本さん。夏は暑く冬は極寒のアトリエで、焼成から研磨まで全て手作業で行い、金具部分もオリジナルパーツとして職人さんが仕上げています。



【時の移ろいをテーマに】

制作前に緻密に計画を立てて形にしていく村松久美子さんと、偶発性を個性と捉え、その中から発想を膨らませて形に落とし込んでいく岡本有加さんのジュエリーは、アプローチこそ異なりますが、共通する思いがあります。おふたりの共通点は、記憶に寄り添うジュエリーであること。日々の繰り返しの中で出会った印象や、個人的な体験を閉じ込めた作品です。今回は「時の移ろい」をテーマに、時間と記憶を紡いだジュエリーが並びます。おふたりの異なるアプローチが、一つの舞台のように響き合う様子をお楽しみください。



ソワレとマチネのネックレス



TIME

KUM

ソワレとマチネのネックレス

・ソワレ (1) ¥42,900(税込)

サファイア、シルバー、シルク

・マチネ (2) ¥42,900(税込)

アクアマリン、サファイア、ラブラドライト、トルマリン、シルバー、シルク

ON glass jewelry

TIME

ガラス、ダイヤモンド、シルバー

各税込 ¥33,000- (税込)

作家紹介



KUM / 村松久美子

多摩美術大学・立体デザイン科卒業後、ジュエリーメーカーにてデザイン業務に従事。退職後フリーランスとして活動を開始。スウェーデンでの手工芸との出会いをきっかけに、日本の伝統的な手工芸を取り入れた組紐アクセサリーの制作を始める。日本情緒にとらわれることなく、組紐の技法を駆使して、身に着ける方の装いや内面に寄り添う、独自の雰囲気を持ったジュエリーを提案している。

insta@kum_atelier



ON glass jewelry / 岡本有加

武蔵野美術大学在学中にON glass jewelryの活動をスタート。東京藝術大学大学院修了後、プライダルジュエリー会社でデザイナーとして働きながら、制作活動を続け、2024年1月より作家業を本格的に始める。一から手作業で行い、ガラスという素材の美しさ、個性を惹きだした一点もののジュエリーを制作している。

insta @on_glass_jewelry



展開商品紹介

隙間夜に出品される一部の商品をご紹介します。(すべて税込)

KUM

今回ご紹介するジュエリーの主はガーデンシリーズ。心の庭に育つ花草木のように、その人の内面にも寄り添うジュエリーをコンセプトにされています。天然石と絹糸が織りなす心地よいリズム感と、やさしく揺れるタッセルは、身につける人自身の美しさや個性を引き立て、日々の中でさりげなく輝きを添えます。



プレスレット サファイア、トルマリン、ラブラドライト等 K18
¥19,800～29,700



ネックレス 南洋パール、トルマリン、サファイア等、 K18
¥30,800～34,100

ON glass jewelry

ガラスは電気炉の中で、温度を徐々に上げて溶かし、またゆっくりと冷ましながら固められます。この工程の中で生まれる偶発的な表情を大切に、ひとつひとつ丁寧に研磨を施して、素材本来の個性を活かしたジュエリーとなっています。シリーズ内でも同じものはなく、ガラスのさまざまな表情をお楽しみいただけます。金具部分はオリジナルパーツとしてデザインされ、職人の手によって仕上げられています。



FLUFFY(左上) ガラス、シルバー ¥22,000
FRAGMENT ear cuff ガラス、シルバー各 ¥8,800-

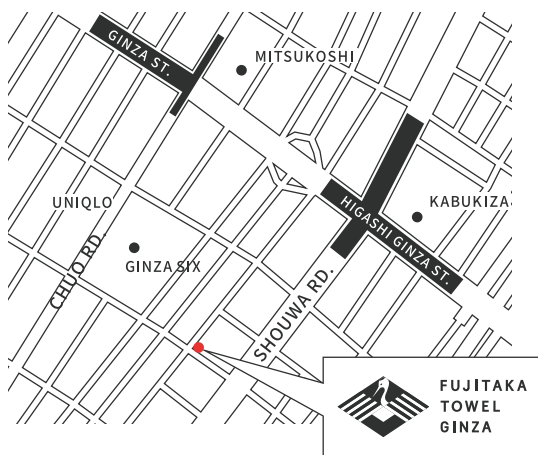


SELF bi-color polish ガラス ¥13,200



SELF bi-color polish ガラス ¥15,400-

インフォメーション



FUJITAKA TOWEL GINZA

住所：東京都中央区銀座7丁目12-1 藤高ビル1F

TEL：03-6278-8852

営業時間：11:30～19:00(隙間夜開催時は11:30～16:00)

休：年末年始

アクセス

- 東京メトロ 銀座線・丸ノ内線・日比谷線「銀座駅」A3 出口 徒歩 5 分
- 東京メトロ 日比谷線、都営地下鉄 浅草線「東銀座駅」A1 出口 徒歩 3 分
- 東京メトロ 有楽町線「銀座一丁目駅」9 番出口 徒歩 10 分
- 東京メトロ 銀座線・都営地下鉄 浅草線、JR 京浜東北線・東海道線・横須賀線、ゆりかもめ「新橋駅」銀座口出口 徒歩 10 分
- 東京メトロ 日比谷線・千代田線、都営地下鉄 三田線「日比谷駅」A2 出口 徒歩 12 分
- 東京メトロ 有楽町線、JR 山手線・京浜東北線「有楽町駅」銀座口出口 徒歩 13 分

お問い合わせや取材、資料ご希望の方は下記までにご連絡ください

藤高小夜子 otoiawase@fujitaka.co.jp